

静岡医療センター検査基準値一覧

2024 年 4 月 23 日改定

項目名称	単位	参考値	備考
生化学検査			
T P (総蛋白)	g/dL	6.7～8.3	体の一般状態をみます
ALB (アルブミン)	g/dL	4.0～5.0	体の一般状態や栄養状態をみます
A/G (アルブミン・グロブリン比)		1.2 ～2.0	体の一般状態をみます
T-Bil (総ビリルビン)	mg/dL	0.3～1.2	高値は肝、胆道系の障害の指標になります
D-Bil (直接ビリルビン)	mg/dL	0.0～0.3	高値は肝、胆道系の障害の指標になります
I-Bil (間接ビリルビン)	mg/dL	0.1～0.9	高値は肝、胆道系の障害の指標になります
Glu (血糖)	mg/dL	80～112	糖尿病や糖代謝異常が推測できます
UN (尿素窒素)	mg/dL	8.0～22.0	高値は腎不全障害が推測されます
CRE (クレアチニン)	mg/dL	男0.6～1.1 女0.4～0.7	高値は腎不全障害が推測されます
UA (尿酸)	mg/dL	男3.6～7.0 女2.3～7.0	高値は痛風や腎結石が推測されます
AST (GOT)	IU/L	13～33	高値は肝疾患、心疾患(心筋梗塞)などが推測されます
ALT (GPT)	IU/L	8～42	高値は肝組織障害が推測されます
ALP (アルカリ性フォスファターゼ) IFCC	IU/L	38～113	高値は肝、胆道系の異常が推測されます
LD (乳酸脱水素酵素) IFCC	IU/L	119～229	高値は肝疾患、心疾患(心筋梗塞)などが推測されます
γ-GTP (γ-グルタミルトランスペプチダーゼ)	IU/L	10～47	高値はアルコール性肝障害、胆道系の障害が推測されます
CK-MB (蛋白質量測定法)	ng/mL	5以下	心筋梗塞の診断や病態の把握のために検査します
CK (クレアチンキナーゼ)	IU/L	男62～287 女45～163	高値は骨格筋、心筋、脳などの損傷の程度が推測されます
ChE (コリンエステラーゼ)	IU/L	214～466	低値は肝実質障害が推測されます
AMY (アミラーゼ)	IU/L	37～125	高値は膵臓障害が推測されます
Na (ナトリウム)	mEq/L	138～146	体液水分量や水代謝異常が推測されます
K (カリウム)	mEq/L	3.6～4.9	神経、筋肉の異常が推測されます
Cl (クロール)	mEq/L	99～109	水代謝異常(浮腫、嘔吐、下痢)が推測されます
Ca (カルシウム)	mg/dL	8.7～10.3	高値は内分泌疾患、骨代謝障害などが推測されます
IP (無機リン)	mg/dL	2.5～4.7	腎疾患、副甲状腺ホルモン機能などが推測されます
Mg (マグネシウム)	mg/dL	1.8～2.4	神経筋の異常、腎障害が推測されます
Fe (鉄)	μg/dL	男54～181 女43～172	低値は鉄代謝異常(鉄欠乏性貧血など)が推測されます
TIBC (総鉄結合能)	μg/dL	男253～365 女246～410	高値は鉄代謝異常(鉄欠乏性貧血など)が推測されます
UIBC (不飽和鉄結合能)	μg/dL	男104～259 女108～325	高値は鉄代謝異常(鉄欠乏性貧血など)が推測されます
TC (総コレステロール)	mg/dL	128～219	高値は心臓、脳血管、動脈硬化疾患の危険因子となります
TG (中性脂肪)	mg/dL	30～149	高値は動脈硬化の発症の危険因子となります
HDL-C (HDL-コレステロール)	mg/dL	40～96	低値は動脈硬化の発症の危険因子となります
LDL-C (LDL-コレステロール)	mg/dL	70～139	動脈硬化性疾患の診断、経過観察としての指標となります
アンモニア	μg/dL	12～66	高値は肝機能の重症度が推測されます
HbA1C (NGSP)「ヘモグロビン・エイワンシー」国際標準	%	4.6～6.2	血糖コントロールの指標となり、1～2ヶ月前の血糖を反映します
CRP (C反応性蛋白)	mg/dL	0.00～0.28	炎症度合いの指標となります
高感度トロポニンI 定量	pg/mL	男34.2以下 女15.6以下	心筋の損傷度合いが推測されます(心筋梗塞、狭心症など)
BNP	pg/mL	18.4以下	慢性心不全の指標となります
尿素呼気試験	‰	2.5以下	ヘリコバクター・ピロリ保菌者の有無が判ります
尿素呼気試験 (定性)		(-)	(胃粘膜炎、胃潰瘍に発展いたします)
免疫学的検査			
FreeT3 (遊離トリヨードサイロニン)	pg/mL	1.68～3.67	甲状腺機能の指標になります
FreeT4 (遊離サイロキシシン)	ng/dL	0.71～1.52	甲状腺機能の指標になります
TSH (甲状腺刺激ホルモン) IFCC	mIU/L	0.61～4.23	甲状腺機能の指標になります

項 目 名 称	単 位	参 考 値	備 考
IgG（イムノグロブリンG）	mg/dL	870～1700	体内での免疫能が推測されます
IgA（イムノグロブリンA）	mg/dL	110～410	体内での免疫能が推測されます
IgM（イムノグロブリンM）	mg/dL	男33～190	体内での免疫能が推測されます
		女46～260	
C 3（C3補体因子）	mg/dL	63～134	免疫系が関与する疾患の診断や経過観察の指標になります
C 4（C4補体因子）	mg/dL	13～36	免疫系が関与する疾患の診断や経過観察の指標になります
ASO定量（抗streptolysin-O抗体）	IU/mL	0～240	高値は溶血連鎖球菌の感染が推測されます
リウマチ因子(RF) 定量	IU/mL	15 以下	関節リウマチの診断補助、膠原病で高値となります
CEA	ng/mL	5.0 以下	消化器がんや肺がんなどの指標。高齢や喫煙でも高くなります
AFP	ng/mL	10 以下	肝細胞がんの指標。肝炎や肝硬変でもやや高くなります
CA19-9	U/mL	37 以下	膵臓・胆道腫瘍の指標。糖尿病、胆石症でもやや高くなります
PSA	ng/mL	4.0 以下	前立腺腫瘍の指標。前立腺肥大症や前立腺炎でも高くなります
HBsAg(抗原)		(-)	B型肝炎ウィルスの感染状態の把握する指標です
HBsAb(抗体)		(-)	B型肝炎ウィルスに再感染しないための抗体です
HCV抗体		(-)	C型肝炎ウィルスの感染状態の把握する指標です
TPAb(抗体)		(-)	梅毒の感染の抗体です
HIV Ag/Ab		(-)	HIV感染の抗体です

尿 一 般 検 査			
尿 蛋白質		(-)	腎疾患が推測されます
尿 ブドウ糖		(-)	糖尿病の有無が推測されます
尿 ウロビリノーゲン		(±)	肝、胆道系の障害が推測されます
尿 ケトン体		(-)	糖質の代謝異常が推測されます
尿 ビリルビン		(-)	肝、胆道系の障害が推測されます
尿 潜血		(-)	血尿を疑い腎機能異常が推測されます
尿 pH		5.0～8.0	尿路感染等が推測されます
尿 白血球		(-)	尿路感染症などが推測されます
尿 亜硝酸塩		(-)	細菌感染の有無が推測されます
尿 比重		1.002～1.030	尿の濃縮度が推測できます

血 液 学 検 査			
WBC（白血球数）	$\times 10^2 / \mu\text{L}$	40～90	高値は感染症や各炎症が推測されます
RBC（赤血球数）	$\times 10^4 / \mu\text{L}$	男410～554	低値は貧血、高値は多血症の指標になります
		女360～490	
Hb（血色素量）	g/dL	男13.8～17.8	貧血などの経過観察の指標になります
		女11.0～15.0	
Ht（血球容積）	%	男34.0～53.0	低値は貧血、高値は赤血球増加症が推測されます
		女31.0～43.3	
MCV（平均赤血球容積）	fL	男83～101	貧血の分類に利用します
		女77～100	
MCH（平均赤血球ヘモグロビン量）	pg	男29.0～36.6	貧血の分類に利用します
		女26.0～35.5	
MCHC（平均赤血球ヘモグロビン濃度）	%	男32.0～36.8	貧血の分類に利用します
		女31.0～36.0	
血小板	$\times 10^4 / \mu\text{L}$	12.0～35.6	出血傾向の指標となります
網状赤血球	‰	5～20	貧血（赤血球の産生程度が推測されます）の指標です
出血時間	分	1.00～5.00	血液の止血状態の指標になります
HPT（ヘパラスチンテスト）	%	70～130	ビタミンK欠乏や肝障害等の指標となります
PT(秒)（プロトロンビン値）	秒	10.0～14.0	肝障害やワーファリン等の治療効果の指標となります
PT(%)（活性）	%	70.0～130.0	肝障害やワーファリン等の治療効果の指標となります
PT（INR）	比	0.8～1.2	肝障害やワーファリン等の治療効果の指標となります
APTT（活性化部分トロポプラスチン時間）	秒	24～34	出血傾向の指標となります
フィブリノーゲン	mg/dL	200～400	種々の病態の指標となります
FDP（繊維素分解産物）	$\mu\text{g/mL}$	0.0～5.0	血栓症の治療観察の指標となります
FDP-Dダイマー	$\mu\text{g/mL}$	0.0～1.0	血栓症の治療観察の指標となります
ATⅢ（アンチトロンビンⅢ）	%	80～130	血栓症の治療観察の指標となります